



Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance への Cisco VSG のインストール

この章は、次の内容で構成されています。

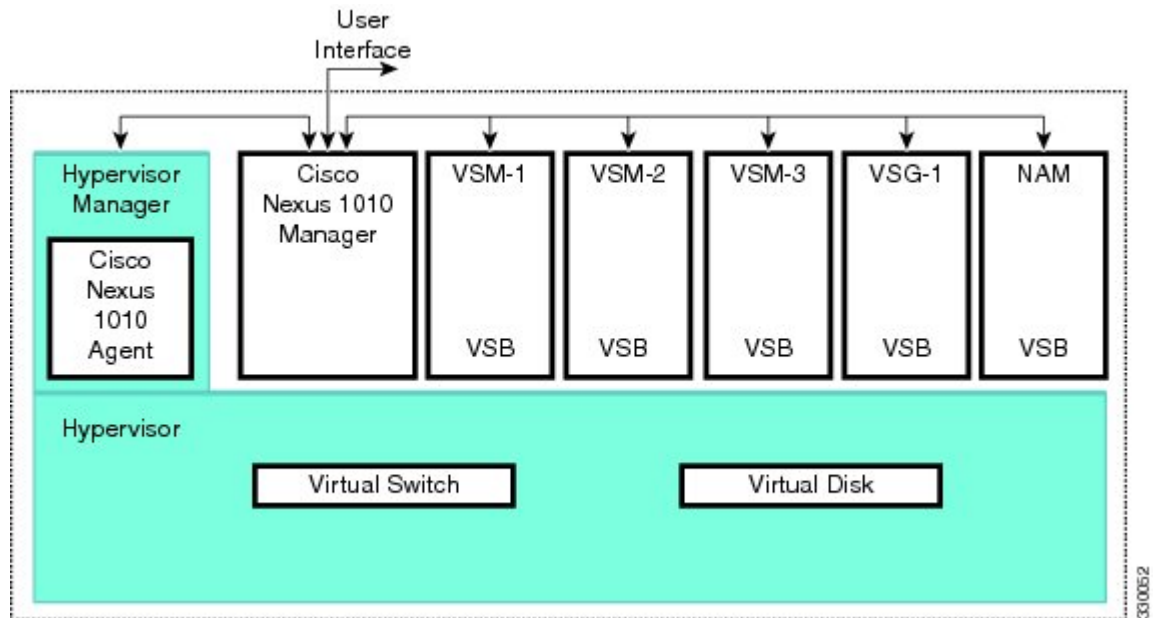
- [Cisco Nexus 1010 への Cisco VSG のインストールに関する情報, 1 ページ](#)
- [Nexus 1010 に Cisco VSG をインストールするための前提条件, 2 ページ](#)
- [ガイドラインと制限事項, 2 ページ](#)
- [Cisco Nexus 1000V への Cisco VSG のインストール, 3 ページ](#)
- [QoS ポリシー設定の確認, 8 ページ](#)

Cisco Nexus 1010 への Cisco VSG のインストールに関する情報

Cisco VSG ソフトウェアには、Cisco Nexus 1010 ブートフラッシュの他の Virtual Service Blade (VSB; 仮想サービスブレード) ソフトウェアも提供されます (リポジトリ ディレクトリ)。Cisco Nexus

1010 には最大で 6 個の仮想サービス ブレード (VSB) があり、ここに Cisco VSG、VSM、または Network Analysis Module (NAM) を配置できます。

図 1: 仮想サービス ブレードの利用方法を示した *Cisco Nexus 1010* アーキテクチャ



Nexus 1010 に Cisco VSG をインストールするための前提条件

- まず Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance をインストールし、ネットワークに接続します。ハードウェアを設置する手順については、『*Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance Hardware Installation Guide*』を参照してください。
- ハードウェア アプライアンスを設置し、ネットワークに接続すると、Cisco Nexus 1010 管理ソフトウェアを設定し、VM に常駐している既存の VSM を Cisco Nexus 1010 を仮想サービス ブレード (VSB) として移行し、Cisco VSG をホストする新しい VSB を作成して設定します。ソフトウェアを設定する手順については、『*Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide*』を参照してください。

ガイドラインと制限事項

- Cisco Nexus 1010 アプライアンスとホスティングされる Cisco VSG VSB は、同じ管理 VLAN を共有する必要があります。

- Cisco VSG VSB が作成されるときに設定されるデータ VLAN およびハイ アベイラビリティ (HA) VLAN とは異なり、Cisco VSG VSB は管理 VLAN を Cisco Nexus 1010 から継承します。



注意 VSB 上の管理 VLAN は変更しないでください。管理 VLAN は Cisco Nexus 1010 から継承されるので、管理 VLAN に対する変更は Cisco Nexus 1010 とホスティングされるすべての VSB の両方に適用されます。

Cisco Nexus 1000V への Cisco VSG のインストール

Cisco Nexus 1000V に仮想サービスブレード (VSB) として Cisco VSG をインストールできます。

はじめる前に

- CLI に EXEC モードでログインします。
- 作成したい Cisco VSG VSB の名前を確認します。
- 使用するのがブートフラッシュ リポジトリ フォルダ内の新しい ISO ファイルか既存の VSB 内の ISO ファイルかを問わず、次のいずれかを実行します。
 - ブートフラッシュ リポジトリ内の新しい ISO ファイルを使用する場合、ファイル名は既知です。
Cisco VSG : nexus-1000v.VSG1.2.iso
 - 既存の VSB 内の ISO ファイルを使用する場合は、その VSB タイプのファイルの名前を確認します。この手順には、この名前の識別に関する情報が含まれます。
- Cisco VSG VSB の次のプロパティを確認します。
 - HA ID : 管理 IP アドレス
 - Cisco VSG 名
 - 管理サブネット マスクの長さ
 - デフォルト ゲートウェイの IPV4 アドレス
 - 管理者パスワード
 - データ VLAN ID および HA VLAN ID
- 次の手順は、Cisco VSG VSB にデータおよび HA VLAN を指定し、割り当てる方法を示しています。管理 VLAN は Cisco Nexus 1000V から継承されるため、管理 VLAN を割り当てないでください。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	(config)# virtual-service-blade <i>name</i>	指定された VSB を作成して、そのサービスの設定モードに切り替えます。名前には、80 文字以下の英数字文字列を指定できます。
ステップ 3	(config-vsbs-config)# show virtual-service-blade-type summary	(オプション) すべての VSB 設定の概要を Cisco VSG、VSM、または NAM などのタイプ名別に表示します。このタイプ名 (この場合、Cisco VSG の名前) は、次のステップで使用します。
ステップ 4	(config-vsbs-config)# virtual-service-blade-type [<i>name name</i> new iso file <i>name</i>]	タイプとこの Cisco VSG VSB に追加するソフトウェア イメージ ファイルの名前を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ブートフラッシュ リポジトリ フォルダの新しい Cisco VSG ISO ソフトウェア イメージ ファイルの名前を指定する場合は、new キーワードを使用します。 既存の Cisco VSG VSB タイプの名前を指定する場合は、name キーワードを使用します。コマンド出力に示された既存のタイプの名前を入力します。
ステップ 5	(config-vsbs-config)# description <i>description</i>	(オプション) Cisco VSG VSB に説明を追加します。 <i>description</i> には、最大 80 文字の英数字ストリングを指定します。
ステップ 6	(config-vsbs-config)# show virtual-service-blade <i>name</i>	次のステップで設定するインターフェイス名を含む、作成された Cisco VSG VSB を表示します。
ステップ 7	(config-vsbs-config)# interface <i>name</i> vlan <i>vlanid</i>	インターフェイスと VLAN ID をこの Cisco VSG に割り当てます。コマンド出力からのインターフェイス名を使用します。 <p>(注) 存在しないインターフェイス名を割り当てようとすると、次のエラーが表示されます。</p> <pre>ERROR: Interface name not found in the associated virtual-service-blade type.</pre> <p>注意 管理 VLAN は割り当てないでください。データ VLAN および HA VLAN と異なり、管理 VLAN は Cisco Nexus 1000V から継承されます。</p>

	コマンドまたはアクション	目的
		<p>注意 接続の損失を防ぐために、ホストされた Cisco VSG では同じデータ VLAN および HA VLAN を設定する必要があります。</p>
ステップ 8	追加のインターフェイスを割り当てる場合は、ステップ 7 を繰り返します。	
ステップ 9	<code>(config-vsbs-config)# enable [primary secondary]</code>	<p>VSB の設定を開始して VSB をイネーブルにします。</p> <p>enable コマンドを、オプションの primary および secondary キーワードなしで入力した場合は、プライマリとセカンダリが両方ともイネーブルになります。</p> <p>冗長ペアを導入する場合は、primary や secondary を指定する必要はありません。</p> <p>非冗長 VSB をイネーブル化する場合は、HA ロールを次のように指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プライマリ ロールの VSB を指定する場合は、primary キーワードを使用します。 • セカンダリ ロールの VSB を指定する場合は、secondary キーワードを使用します。 <p>Cisco Nexus 1000V により、次の情報が求められます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HA ID • 管理 IP アドレス • 管理サブネット マスクの長さ • デフォルト ゲートウェイの IPV4 アドレス • Cisco VSG 名 • 管理者パスワード
ステップ 10	<code>(config-vsbs-config)# show virtual-service-blade name name</code>	<p>(オプション) 確認のため、新しい VSB を表示します。</p> <p>Cisco Nexus 1000V 管理ソフトウェアが Cisco VSG を設定している間に、このコマンドの出力は IN PROGRESS から POWERED ON に変わります。</p>

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 11	<code>(config-vs-b-config)# copy running-config startup-config</code>	(オプション) 実行コンフィギュレーションをリブートしても永続するよう保存し、スタートアップコンフィギュレーションにコピーして再起動します。

次の例は、Cisco Nexus 1000V アプライアンス VSB を Cisco VSG として設定する方法を示しています。

```
N1010# configure
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
N1010 (config)# virtual-service-blade vs-g1
N1010 (config-vs-b-config)# virtual-service-blade-type new nexus-1000v.VSG1.2.iso
N1010 (config-vs-b-config)# interface data vlan 72
N1010 (config-vs-b-config)# interface ha vlan 72
N1010 (config-vs-b-config)# enable
Enter vsb image: [nexus-1000v.VSG1.2.iso]
Enter HA id[1-4095]: 1233
Management IP version [V4/V6]: [V4]
Enter Management IP address: 10.193.73.42
Enter Management subnet mask: 255.255.248.0
IPv4 address of the default gateway: 10.193.72.1
Enter HostName: vs-g1
Enter the password for 'admin': Hello_123
N1010 (config-vs-b-config)# end
N1010#
```

次の例は、Cisco Nexus 1000V に Cisco VSG を VSB としてインストールする方法を示しています。

```
N1010# configure
N1010 (config)# virtual-service-blade vs-g1
N1010 (config-vs-b-config)# show virtual-service-blade-type summary
-----
Virtual-Service-Blade-Type      Virtual-Service-Blade
-----
VSM SV1_3                       vsm-1 vsm-2
NAM-MV                           nam-1
VSG-1                            vsg-1
-----
```

```
N1010 (config-vs-b-config)# virtual-service-blade-type new nexus-1000v.VSG1.2.iso
or
N1010 (config-vs-b-config)# show virtual-service-blade name vs-g1
```

```
N1010 (config-vs-b-config)# description vs-g1 for Tenant1
N1010 (config-vs-b-config)# show virtual-service-blade name vs-g1
-----
virtual-service-blade vsm2
Description:
Slot id: 2
Host Name:
Management IP:
VSB Type Name : VSG-1.0
Interface: ha vlan: 0
Interface: management vlan: 231
Interface: data vlan: 0
Interface: internal vlan: NA
Ramsize: 2048
Disksize: 3
Heartbeat: 0
HA Admin role: Primary
HA Oper role: NONE
Status: VSB NOT PRESENT
Location: PRIMARY
```

```

SW version:
HA Admin role: Secondary
HA Oper role: NONE
Status: VSB NOT PRESENT
Location: SECONDARY
SW version:
VSB Info:
-----
N1010(config-vsbs-config)# interface data vlan 1044
or
N1010(config-vsbs-config)# interface ha vlan 1045

N1010(config-vsbs-config)# enable
-----
Enter domain id[1-4095]: 1054
Enter Management IP address: 10.78.108.40
Enter Management subnet mask length 28
IPv4 address of the default gateway: 10.78.108.117
Enter Switchname: VSG-1
Enter the password for 'admin': Hello_123
-----
N1010(config-vsbs-config)#N1010(config-vsbs-config)# show virtual-service-blade name vsg-1
-----
virtual-service-blade vsg-1
Description:
Slot id: 1
SW version: 4.0(4)SV1(3)
Host Name: vsg-1
Management IP: 10.78.108.40
VSB Type Name : VSG-1.1
Interface: ha vlan: 1044
Interface: management vlan: 1032
Interface: data vlan: 1045
Interface: internal vlan: NA
Ramsize: 2048
Disksize: 3
Heartbeat: 1156
HA Admin role: Primary
HA Oper role: STANDBY
Status: VB POWERED ON
Location: PRIMARY
HA Admin role: Secondary
HA Oper role: ACTIVE
Status: VB POWERED ON
Location: SECONDARY
VB Info:
Domain ID : 1054
-----
N1010(config-vsbs-config)# copy running-config startup-config

```

次の例は、Cisco Nexus 1000V で仮想サービス ブレードの概要を表示する方法を示しています。

```
N1010# show virtual-service-blade summary
```

Name	Role	State	Nexus1010-Module
vsg-1	PRIMARY	VSB POWERED ON	Nexus1010-PRIMARY
vsg-1	SECONDARY	VSB POWERED OFF	Nexus1010-SECONDARY
vsg9	PRIMARY	VSB NOT PRESENT	Nexus1010-PRIMARY
vsg9	SECONDARY	VSB DEPLOY IN PROGRESS	Nexus1010-SECONDARY
nam_1	PRIMARY	VSB POWERED OFF	Nexus1010-PRIMARY
nam_1	SECONDARY	VSB NOT PRESENT	Nexus1010-SECONDARY
vsgc1	PRIMARY	VSB POWERED ON	Nexus1010-PRIMARY
vsgc1	SECONDARY	VSB POWERED ON	Nexus1010-SECONDARY
nam_2	PRIMARY	VSB POWERED OFF	Nexus1010-PRIMARY
nam_2	SECONDARY	VSB NOT PRESENT	Nexus1010-SECONDARY

QoS ポリシー設定の確認

次のいずれかのコマンドを使用して、設定を確認します。

コマンド	説明
<code>show policy-map [type qos] [name policy_map_name]</code>	ポリシー マップ設定を表示します。
<code>show table-map name</code>	テーブル マップ設定を表示します。